

## はじめに

次代を担う子どもたちが、豊かな心や幅広い視野、それぞれの志をもってたくましく生きていくことは、県民全ての願いです。中でも、幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、その発達段階に応じた、豊かな体験は欠かすことができません。

しかし、現在の幼児は、情報化社会の中で、多くの擬似体験に囲まれて生活しているにも関わらず、自然との触れ合いや、地域で異年齢の子どもたちとの関わりが希薄化するなど、具体的な体験の場が不足しています。

また、子どもの現状において、学ぶ意欲の低下や自尊感情の喪失、社会と自分との関わりの意識の希薄化等、多くの問題も指摘されています。

本県では、平成17年度から、地域社会における幼児の様々な体験活動の充実を図るために、「幼児体験活動研究開発事業」を実施してきました。

幼児の発達段階や季節、自然環境のよさを生かすことはもちろんのこと、地域の施設を活用したり、地域の人に指導者やボランティアとして協力してもらい一緒に取り組むなど、地域の特性を生かした特色あるプログラムの開発に努めるとともに、県内6箇所にて設けられた地域実行委員会において集団宿泊体験活動を実施したところであります。

本書は、平成19年度に各地域実行委員会で実施した幼児体験活動プログラムの事例をまとめるとともに、プログラムの企画立案から実施までの手引きや特徴的なプログラムについて掲載しております。

つきましては、各市町村や幼稚園、保育所等において幼児教育に取り組んでおられる方々に、本書を積極的に活用していただき、地域の施設や組織、人の支援・協力を得ながら、幼児体験活動の充実を図り、幼児の健全な育ちを支援する教育活動を推進していただきたいと思います。

最後に、本プログラム事例集の作成にあたりご協力いただきました各地域実行委員会に対しまして深くお礼申し上げます。

平成20年3月

福岡県教育委員会